

炭素繊維シートによる コンクリート構造物の補修・補強

エポキシ樹脂プライマー

アルプロン CFプライマー

アルプロンCFプライマーは下地が乾燥している場合はもちろん、下地が湿潤している場合においてさえも十分に密着性を有する低粘度速乾性の湿潤面用エポキシ樹脂プライマーです。



■荷姿
主剤：6kg
硬化剤：3kg
(1セット 9kg)

■特長

- ・コンクリート面に湿気があっても完全に接着します。
- ・低粘度で作業性に優れており、刷毛、ローラー刷毛、スプレーのいずれも使用可能です。
- ・速乾性です。
- ・塗り重ね性が良好です。
- ・耐水性、耐久性に優れています。

■用途

- ・湿気のあるコンクリート面、モルタル面へのプライマー。
- ・貯水池、地下道、地下槽、ピット等のライニング材のプライマー。
- ・ウレタン防水、ウレタン塗床のプライマー。
- ・湿気のあるコンクリートのジャンカ、欠損部の補修時のプライマー。
- ・給油所防火塼等の塗装用プライマー。

■使用方法

1. 被着体表面のレタンス、ゴミ、汚れ、油分等を除去して下さい。溜水はウエス等で拭き取ってください。
2. 主剤、硬化剤を定められた配合比(2:1)で計量して下さい。
3. 主剤と硬化剤が均一になるまで十分に混合攪拌して下さい。なお、混合攪拌したものは可使用時間内に使用してください。
4. 刷毛、ローラー刷毛、スプレー、エアレス等にて塗布して下さい。
5. 指触乾燥したのち、次の工程に進んでください。

■性状

項目	主剤	硬化剤	試験方法
主成分	エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン	-
外観	無色透明液状	淡褐色透明液状	-
配合比	主剤：硬化剤 = 100：50		-
比重(20℃)	1.1 (硬化物)		JIS K 7112
可使用時間	8時間以上 (20℃、1kg)		温度上昇法
指触硬化	60分 (20℃)		RC式乾燥時間測定
不揮発分	50%	25%	-

■物性

項目	強さ	試験方法
密着性	100/100	目録目試験
耐衝撃性	異常なし	(1" / 2) 500/500
耐屈曲性	2m/φ異常なし	180° 屈曲
エリクセン試験	5.5m/m異常なし	-
曲げ接着強さ	乾燥面 6.5N/mm ² 湿潤面 6.1N/mm ²	JIS R 5201

※曲げ接着強さは、モルタルの接着面にアルプロンCFプライマーを塗布し、指触乾燥後エポキシ樹脂で貼り合せを行った。

素地調整用エポキシ樹脂パテ

アルプロン CFパテ

アルプロンCFパテは、コンクリートの巣穴、凹部、段差の修正、シール及び接着性に優れたエポキシ樹脂パテ材です。



■荷姿
主剤：10kg
硬化剤：5kg
(1セット 15kg)

■特長

- ・作業性が良好です。
- ・接着性に優れています。
- ・耐水性、耐久性に優れています。

■用途

- ・コンクリートのピンホール、ジャンカ等の穴埋め。
- ・塗料塗布前の素地調整。

■使用方法

1. 被着体表面のレタンス、ゴミ、汚れ、油分等を除去し、プライマーを塗布してください。
2. 主剤、硬化剤を定められた配合比(主剤2に対し硬化剤1)で計量して下さい。
3. 主剤、硬化剤が均一になるまで十分に混合攪拌して下さい。混合攪拌したものは可使用時間内に使用してください。
4. 金ゴテ、ゴムヘラ等にて塗布して下さい。

■性状

項目	主剤	硬化剤	試験方法
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	-
外観	白色パテ状	灰色パテ状	-
配合比	主剤：硬化剤 = 100：50		-
比重(20℃)	1.6 (硬化物)		JIS K 6833
可使用時間	40分 (20℃、1kg)		温度上昇法
指触硬化	7時間 (20℃：500μ)		RC式乾燥時間測定

■物性

項目	強さ	試験方法
圧縮強さ	53.9N/mm ²	JIS K 7208
曲げ強さ	32.3N/mm ²	JIS K 7203
引張強さ	19.6N/mm ²	JIS K 7113
引張剪断接着強さ	14.7N/mm ²	JIS K 6850
衝撃強さ	2.0N・mm/mm ²	JIS K 7111
硬さ	85H D D	JIS K 7215

※養生条件20℃7日間
試験温度20℃

含浸接着用エポキシ樹脂

アルプロン CFコート

CFコートは、コンクリート構造物の耐震補強工法の炭素繊維シート接着及び含浸用に使用するエポキシ樹脂です。



■荷姿
主剤：10kg
硬化剤：5kg
(1セット 15kg)

■特長

- ・炭素繊維等の含浸性に優れています。
- ・作業性が良好です。
- ・接着性に優れています。
- ・耐水性、耐久性に優れています。

■用途

- ・炭素繊維補強ライニング。
- ・ピニロン繊維によるはく落防止ライニング。
- ・コンクリート、金属等の接着。

■使用方法

1. 被着体表面のレタンス、ゴミ、汚れ、油分等を除去し、プライマーを塗布してください。
2. 主剤、硬化剤を定められた配合比(主剤2に対し硬化剤1)で計量して下さい。
3. 主剤、硬化剤が均一になるまで十分に混合攪拌して下さい。混合攪拌したものは、可使用時間内に使用してください。
4. 刷毛、ローラー刷毛、ゴムヘラ等にて塗布して下さい。
5. 連続繊維シートを貼り付け、脱泡ローラーを用い、目詰め、脱泡して下さい。
6. 再度CFコートを刷毛、ローラー刷毛、ゴムヘラ等にて塗布して下さい。

■性状

項目	主剤	硬化剤	試験方法
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	-
外観	青色液状	微黄色液状	-
配合比	主剤：硬化剤 = 100：50		-
粘度(20℃)	11,000mPa・s : 800mPa・s		JIS K 6833
比重(20℃)	1.20 (硬化物)		JIS K 6833
可使用時間	40分 (20℃、1kg)		温度上昇法
指触硬化	9時間 (20℃：500μ)		RC式乾燥時間測定

■物性

項目	強さ	試験方法
圧縮強さ	68.6N/mm ²	JIS K 7208
曲げ強さ	53.9N/mm ²	JIS K 7203
引張強さ	39.2N/mm ²	JIS K 7113
引張剪断接着強さ	14.7N/mm ²	JIS K 6850
衝撃強さ	3.9N・mm/mm ²	JIS K 7111
硬さ	83H D D	JIS K 7215

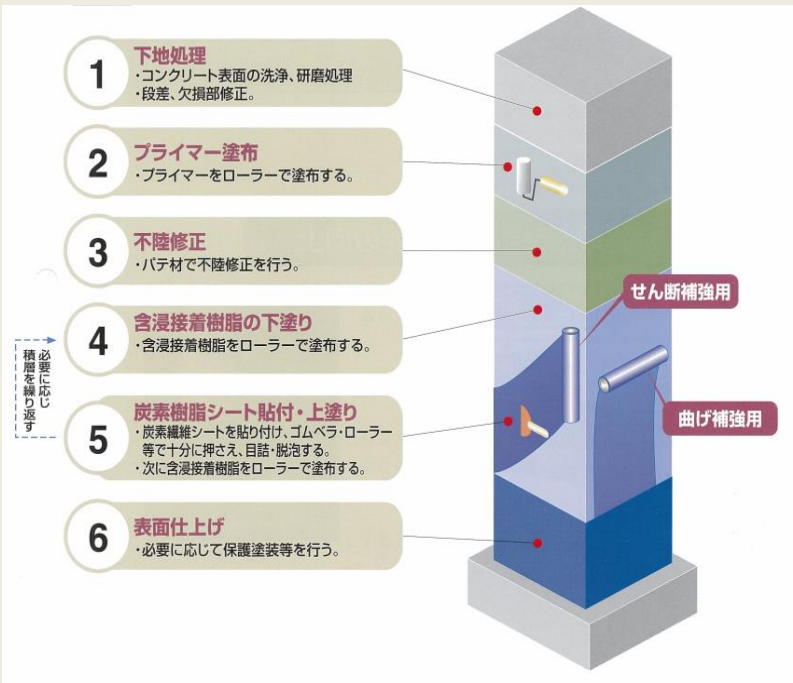
※養生20℃7日間
試験温度20℃

炭素繊維シートによる コンクリート構造物の補修・補強

炭素繊維シート工法

炭素繊維シートは、鋼材に比べて強度が約10倍、比重が約1/5と高強度、軽量で、しかも腐食しないという特性を持っているため、右記のような特長を持つ画期的な工法です。

- クレーンなどの重機がいらぬ。
- 作業が簡単／施工時間が短い。
- 鉄筋組立工や溶接工などの専門作業員が不要。
- 腐食しないため耐久性が高い。
- 複雑な事前作業が不要。
- コストパフォーマンスに優れている。



施工手順



下地処理



プライマー塗布



不陸修正



繊維シート貼付



含浸樹脂塗布



塗布完了



補強例 柱



補強例 床版

接着剤ご使用上の注意

- ※主剤・硬化剤を重量比2：1で計量し、均一になるまで十分に混練りして下さい。
- ※硬化養生時、雨水・夜露等がかからないよう養生して下さい。
- ※その他詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

日米レジン株式会社

本社・工場 〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町15番地
 関東営業課 〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港32-27
 東京事務所 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目12-9
 札幌営業所 〒063-0836 札幌市西区舞臺16条13丁目5-1
 仙台営業所 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東3丁目4-8
 名古屋営業所 〒485-0012 愛知県小牧市小牧原新田1371
 大阪営業課 〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町15番地
 中国営業所 〒710-0023 岡山県倉敷市帯高角3丁目3
 福岡営業所 〒815-0031 福岡県福岡市南区清水1丁目16-8(第2名永ビル2F)
 鹿児島営業所 〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目1-8

TEL(072)438-0321 FAX(072)438-0366
 TEL(043)216-3541 FAX(043)301-8131
 TEL(03)6280-4210 FAX(03)5643-7201
 TEL(011)665-1666 FAX(011)665-6662
 TEL(022)287-1577 FAX(022)287-5526
 TEL(0568)76-5678 FAX(0568)76-8590
 TEL(072)423-8363 FAX(072)423-8366
 TEL(086)428-6720 FAX(086)428-6730
 TEL(092)551-6871 FAX(092)551-6842
 TEL(099)206-9161 FAX(099)285-2626